



なばり

2012年(平成24年) 2月26日発行

主な内容

- 1・2……「市民広報特派員」「広報なばりメールサポーター」募集
- 3……ひまわり、リバーナホール催物、かがやき催物
- 4……二次救急実施病院、予防接種はお済みですか

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp ㊚http://www.city.nabari.lg.jp

今年度の市民広報特派員に感想を伺いました

学んだことを市民の皆さんに伝えたい

食事や運動が「糖尿病」や「メタボリックシンドローム」などの予防に大切なことは知られていますが、「がん」の再発予防にも大切なことはあまり知られていないと感じていました。また、退院時に専門家から食事、運動のアドバイスがあまり行われていないのが現状です。退院後のがん体験者やその家族から食事や運動の相談を受けるわたしも「どのようにアドバイスすればよいのか」と悩むことが何度もありましたが、管理栄養士として学んできたことや、医療の職場で働いてきて経験したことを伝えたいと思い、特派員に応募しました。

記事作成に携わったことで、自分の普段の考えや思いを、再

度まとめる事ができましたし、多くの人に知っていただくよい機会でした。

広報紙の発行後、紙上で募集した「がん食事療法の学習情報交換会」には約10人の参加があり、健康ランチを食べながらレシピ交換を行うなど楽しく話をする事ができました。また、広報なばりメールサポーターのアンケートでは「身近な話題として参考になりました」「我が家の永久保存版にします」などの意見をいただき、活動の励みになりました。

市民活動をしている皆さん、ぜひ、活動をより多くの人に伝える手段として市民広報特派員に応募してみたいかがでしうか。



永谷 明子さん
(赤目町文六)



ご参加くださるに 広報紙づくりに

「市民広報特派員」と「広報なばりメールサポーター」を募集します

市では、広報紙づくりに「市民の視点」を取り入れることで、より分かりやすく、信頼される広報紙を目指しています。そこで「市民広報特派員」の皆さんに、市と協働で広報紙を作成いただいたり、「広報メールサポーター」の皆さんに紙面を評価いただいたりと、市民の皆さんのご協力をいただいています。

平成24年度の「市民広報特派員」と「広報なばりメールサポーター」を募集しますので、ぜひご応募ください(詳しくは2ページをご覧ください)。今号では、今年度の市民広報特派員に感想を伺いました。

☎ 広報対話室 ☎ 63・7402

昨年8・1号で「がん再発予防のための食事と運動」をテーマにレポート

市民目線での広報紙づくりが大切

市の広報紙の情報は、市からの一方通行の内容になりがちです。「伝えたいこと」や「知りたい」ことを市民広報特派員として記事にすることで、行政の発信とは違う部分が出てくるのではないかと考えました。

そこで、以前から関心のある鳥獣害問題などをテーマに市民広報特派員に応募しました。

紙面では、わたしが市民の皆さんに知っていただきたい「地域の取組み」や「猟友会の活動」を取り上げました。

また、わたし自身、市やJAが鳥獣害に対してどのような取組みをしているのかを知りたいと思っていましたので、市民広報特派員として話を聞かせていただいたことがよかったですね。

昨年9・3号で「鳥獣害対策をみんなで進めよう！」をテーマにレポート

個人ではなかなか聞く機会がないかもしれません。

取材は、広報対話室職員に同行してもらうように頼みました。取材と一緒にいくことで紙面を作り上げていく上で「何を言いたいのか」「何が大切なのか」など意思の疎通ができたのではないかと思います。

こうして作り上げた広報紙をご覧いただき、猟友会の活動などを多くの市民の皆さんに知っていただけたと思います。

市には多くの課題があり、それに取り組むたくさんの人・団体があります。そういった皆さんにも市民広報特派員として広報紙づくりに参加いただくことで、市民目線の広報紙になっていくのだと思います。



小田 俊朗さん
(安部田)



募集の詳細は2ページに掲載